



JAPAN AIRLINES



J-AIR

(共同リリース)

2026年6月8日
日本航空株式会社 東北支社
株式会社ジェイエア

山形のさくらんぼを通して、人流・商流・物流の創出に取り組みます

～「さくらんぼ県」山形の食と農を通して、地域共創の輪をさらに拡大します～



初日のフォトセッション(*1)



さくらんぼ選別作業の様子(2025年度)

JALグループは、「JALふるさとプロジェクト」(*2)の一環として、山形県のさくらんぼを通して、人々の移動(人流)、商品の流通(商流)、そして物資の輸送(物流)を生み出すことで、山形県のさらなる地域活性化に貢献することを目指しています。

日本航空株式会社 東北支社(支社長:椎橋 壽太郎)では、JA全農山形と人手不足の解消と地域活性化を目的に農業現場でのさくらんぼの収穫、選別や箱詰めなどの労働力支援を2022年より実施しています。5年目となる今年は、社内公募によって集まった約100名のJALグループ社員に加え、共創パートナーとして株式会社鐘崎、株式会社おもてなし山形、株式会社山新観光の3社を新たに参画メンバーに迎えました。初日となる6月8日(月)には、東根市さくらんぼ園場の鈴木農園にて、お披露目会を実施しました。

■2026年度参画の「共創」パートナー



食の品質管理や製造現場のノウハウを活かした、選別・箱詰め作業のさらなる効率化・品質向上に貢献します。



おもてなし山形

地域DMOとしての視点と、地域マーケティング(ふるさと納税等)の知見を融合。農家様との深い交流を通じて、現場の課題を汲み取り、製品の付加価値向上や持続可能な地域づくりへ貢献します。



プログラムの経験を活かした、将来的な「農業体験型観光(アグリツーリズム)」のコンテンツ化やツアー開発への展開を目指します。

航空、食品製造、地域マーケティング、観光・旅行といった各社の強みを結集させることで、従来の労働力支援にとどまらない「観光コンテンツ化」や「新たな商流・人流の創出」を実現し、山形農業の持続可能性向上と地域活性化に貢献します。

またJALグループでは、羽田産直館での物産展や、伊丹空港を中心に開催している「ITAMI 空の市」(*3)を通して、全国各地の特産品を販売・紹介しています。

さくらんぼシーズンとなる6月は、代表品種「佐藤錦」の発祥地である東根市の旬のさくらんぼや特産品を2週にわたって販売します。羽田産直館では、観光フェアとして、東根市の観光PRも実施します。



<さくらんぼ販売イベント>

※各イベントの内容は予告なく変更となる場合があります。売り切れ次第終了となります。

イベント名	期間	場所
山形県東根市さくらんぼ&観光フェア in 羽田産直館	2026年6月13日(土)、 14日(日)	羽田空港第1ターミナル2階 マーケットプレイス 羽田産直館
ITAMI 空の市「季節市」		大阪国際(伊丹)空港
ITAMI 空の市「さくらんぼ祭り」	2026年6月19日(金)、 20日(土)	北ターミナル2階JALグローバルクラブカウンター横(上島珈琲店前)

ITAMI空の市「さくらんぼ祭り」にてさくらんぼをご購入された方には、各日先着100名さまを対象に、ハズレなしの抽選会を実施します。

JALグループは、山形県の魅力を全国に向けて広く発信することで、観光の促進とさくらんぼの流通拡大に力を入れ、地域に新たな関心を喚起します。人流・物流・商流における新たな流動を創出することで、地域や各社とのつながりを深めながら、地域活性化に貢献してまいります。



(*1)左から順におもてなし山形(代表取締役:小林 勝喜)、鐘崎(代表取締役社長:嘉藤 明美)、ジェイエア(代表取締役社長:武井 真剛)、鈴木農園(代表:鈴木 克也)、日本航空(東北支社長 椎橋 壽太郎)、日本航空(東北支社 肥後 るみ(ふるさとアンバサダー)、山新観光(代表取締役社長:国井 富彦)

(*2)JALふるさとプロジェクト 詳細URL:<https://japan.jal.co.jp/>

(*3)「ITAMI 空の市」は、生産者の皆さまの思いが詰まった大切な商品を、J-AIRの拠点である大阪国際(伊丹)空港で販売する空港マルシェです。J-AIRが企画から仕入れ・輸送・販売まで一気通貫で行っています。

以上